

未踏の第27期 スーパークリエイターたち



竹内郁雄 | IPA 未踏 IT 人材発掘・育成事業 統括プロジェクトマネージャ

未踏事業で採択され、優れた成果や成長を示した人たちを未踏スーパークリエイターと呼ぶ。この認定は2021年で27回目となる。突出した才能を持つスーパークリエイターを広く産業界や学界に知っていただきたい、というのがこの年次報告の狙いである。

第27期の未踏クリエイターは計31名(20プロジェクト)で、そのうちの21名(15プロジェクト)がスーパークリエイターとして認定された。2014年から認定率は右肩上がりに増え続けとうとう67.7%と、全体の2/3を超えた。これはそもそも採択されるクリエイターの質が毎年少しずつ上がっていることの顕れだろう。実際応募倍率も少しずつ伸びている。

今期は高校生1名(昨年は1名)、女性3名(昨年は1名)が認定された。女性比率が少ないとよく指摘されるのだが、今年は女性全7名中の3名ということで、ほんの少し改善されたということになるのだろうか。

今期も低レイヤからWebアプリまで幅広くバランスよくスーパークリエイターが選ばれた。

2019年年度もそうだったが、今期もコロナ禍に悩まされた。結局、担当のプロジェクトマネージャ(以下PM)と一度も直接会えなかったクリエイターが何人かいた。それでも、全体的に成果の質が落ちなかったことは、予想外の収穫(?)である。ソフトウェアだけでなく、最近はハードウェア試作をしないとイケないプロジェクトが比較的多く、

複数人プロジェクトでのリモート開発が難しいことも一杯あったと思う。ここにポストコロナのヒントがあるかもしれない。

この紹介記事は今回で10回目という節目を迎えた。「情報処理」も、Web化への大きな転回をしたところである。今回からは、担当PMにスーパークリエイターの紹介をWeb記事として書いていただき、この導入記事からは、そこへのリンクを貼ることにした。それぞれの紹介には短い統括PM追記として、お邪魔かもしれないが、少しエピソード的な情報を追加することにした。

リンクの紹介は、これまでに倣い、クリエイターを代表者の50音順とする。タイトルは正式なものではなく、「名は体を表す」キャッチに変えてもらった。なお、2021年2月20～21日の2日間にオンラインで開催された成果報告会(Demo Day)のすべての動画はIPA channel

<https://www.youtube.com/user/ipajp/>で見ることができる。最近のプロジェクトはデモンなど、動画で見ないと面白さや意義が分からないものが多いので、興味を持たれた方、スーパークリエイター以外の発表にも関心がある方は、つまみ食い的に見ることもできるので、ぜひそれをご覧いただきたい。もちろん、少し過去のプロジェクトの動画も見ることができる。

(2021年6月30日)

各クリエイターの記事本編は会誌「情報処理」noteに掲載されています。

「情報処理」note
<https://note.com/ipsj>

マガジン：未踏の第27期スーパークリエイターたち
<https://note.com/ipsj/m/m7ff3de849ae6>

「情報処理」note 未踏マガジン



■ 上田侑真

ソフトウェアのインストールが不要なNIC型セキュリティ機構

■ 大淵雄生

アイデアを誰でも高速に形にできるノーコードソフト AxStudio

■ 岡南直哉, 中村龍矢

次世代分散型アプリケーションプラットフォームのためのプロトコル開発支援システム

■ 近藤耕太

宇宙ごみの運動推定のための実証衛星

■ 酒井 俊

スマートフォンで完結するバスの運行情報提供システム FindYourBus

■ 篠田和宏, 佐野由季, 原田珠華, 安齊 周

着られる手書き文字入力デバイス wearbo

■ 菅野龍太

VRを用いた野球球審ジャッジトレーニング

■ 杉山優一

ハードウェアセキュリティ検査システム MicroFuzz

■ 関根史人

誰でも簡単に使えるカット加工機 TinyFabrica

■ 妹尾卓磨

非専門家でも手軽に使えるデータ駆動型深層強化学習ライブラリ

■ 秀島裕樹

アルゴリズムック・ロボットデザイン

■ 平井龍之介

シェーダライブコーディング・アーカイブシステム

■ 松井菜摘

ヘアアイロン使用補助システム Color-Path

■ 森田崇文, 初山陽紀, 栃本祥吾

チョーカー型汎用触覚デバイス

■ 和田優斗

強力なグラフィック機能を備えた組版処理システム Twilight



コロナ禍のため、完全オンラインで開催された成果報告会：PMとIPA関係者だけが会場に集まったので、放送機材や消毒薬がものしく並んでいる不思議な雰囲気となった（首藤 PM 撮影）